

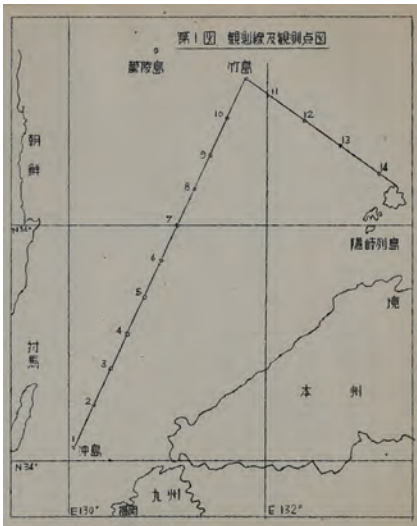
時代区分 III (3)-③水産調査

連合国軍占領終了後の福岡県水産試験場による竹島に関する調査報告

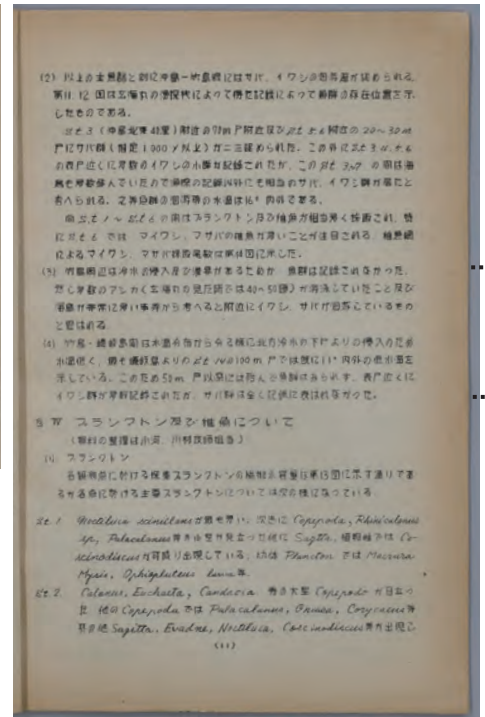
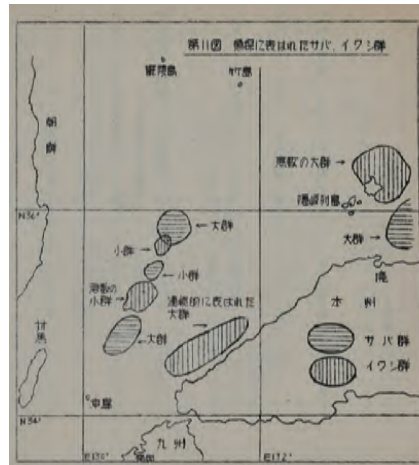
No.50 対馬暖流開発調査 その一

日本海中部魚道の海況漁況(沖島-竹島-隠岐島)

1953年(昭和28年)6月



所蔵:福岡県水産海洋技術センター



資料概要

対馬暖流開発調査に参加した福岡県水産試験場は、試験船玄海丸で、1953年(昭和28年)5月10日から18日にかけて日本海中部を回遊するサバ資源の調査を行った。

鳥取県水産試験場によるサバ延縄漁の試験(→No.28)等、戦前からの調査実績を踏まえて行われたこの調査では、沖ノ島(福岡県)と竹島の間でサバ、イワシの回遊を確認し、併せて、竹島の根付の漁場としての価値も報告された。

なお、この調査では竹島周辺でアシカ40～50頭を確認している。

内容見本

(3)竹島周辺は冷水の侵入及び湧昇があるためか、魚群は記録されなかった。然し多数のアシカ(玄海丸の見た所では40～50頭)が遊泳していたこと及び海鳥(ママ:鳥と思われる)が非常に多い事等から考えると附近にイワシ、サバが回遊しているものと思はれる。

(略)

作成年月日 1953年(昭和28年)6月

編著者 野中進

発行者 福岡県福岡水産試験場

収録誌 げんかい第2号

言語 日本語

媒体種別 紙

公開有無 有

所蔵機関 福岡県水産海洋技術センター

利用方法 福岡県水産海洋技術センターに問い合わせを行う